

新人職員 紹介

西の池学園
才川 稔晃

利用者の皆様に、笑顔を届けることができる支援者を目指します。

西の池学園
神辺 咲希

利用者の皆さんが毎日楽しく過ごせるように、一人ひとりの様子を気にかけてながら支援していきます。

西の池学園
坂田 葵

利用者の方々が充実した生活を送れるよう、共に考え歩んでいきたいです。

西の池学園
山平 剛大

利用者の皆様に楽しく過ごしていただくためのサポートができるよう、日々頑張っています。

**放課後等
ティサービス
タワ**
谷本 遥

毎日元気で、笑顔を忘れず、子どもたちと共に楽しく過ごしていきたいです。



**ティセンター
こだま**
宗藤 永莉

利用者様一人ひとりの細かい変化に気づけるように頑張ります。

**ティセンター
こだま**
中本 雛葉

相手の気持ちに立ち、優しい気持ちで利用者の方と関わりたいです。

西の池学園

コロナ禍を通じて得た経験

あおぞら工房

ちょうど1年前に「逆境を糧に」という記事を掲載させて頂きました。そこには、コロナ禍を通して最適を選択し実行に移せる「勇気」を身につけたい、という思いを書いています。

あれから1年が経った今もコロナ禍の真ただ中、さながらゴールの見えないマラソンを走っているような気持ちになってしまっています。

そんな私に「勇気」が身についたかどうかは分かりません。しかし、コロナの影響で減少した作業収入を補うために新しい作業に挑戦したり、IT機器が苦手な私がリモート会議に参加したりと、気がつけば様々な経験を積むことができたように思います。

特に、ウエスの原料がロックダウンで入らなくなった時は本当に焦りましたが、リサイクル業者から大量の古着を買い付け、どうにか当座を凌いだ経験は、逆境でも皆の知恵を集めて行動に移せばどうにかなる!というコロナ禍での貴重な経験として今後に活かしていきたいと思っています。

コロナ禍の生活は決して簡単ではありませんが、こうして振り返ってみると、少しは得たものもあったのではないかと感じます。

とはいえ、早くコロナは終息して欲しいですし、以前のような生活に戻りたいとも考えています。その日が来るまでに少しでも「勇気ある職員」に近づけるよう、業務に励んでいきたいと思っています。



管理者 内田 孝洋

Aさんは、ご家族の事情で現在西の池学園のショートステイを利用して頂いています。

コロナ禍で帰宅もままならない中、先日久しぶりに一泊二日の帰宅をすることができました。ショートステイに戻った時、Aさんの連絡帳にお母さんからの言葉が添えられていたのでその一部をご紹介します。

お世話になります。いつもありがとうございます。帰宅中、落ち着いて過ごせました。元気いっぱいでした。

久しぶりの帰宅で、家とテレビ番組の予約チェックと、荷物整理に忙しいな👤でした。私の手伝いもしてくれました。夜、布団に入ってから「お泊り、淋しい・・・」とポツリ...言いました。

帰宅のたびに成長していて、苦手の洗面、歯みがき、お風呂、着がえもスムーズに出来るようになり、ビックリ!!でした。日々のご支援のおかげです。ジーンとしました。

ありがとうございます。とても嬉しい成長です。引き続きお世話になる日々ですが、よろしく願います。

👤と「マスク」「五月の会議」の話を確認しました。「わかってるよ!!」

と大人の返しの👤でした。今朝は「これ持って行く!!」と荷物づくりもスムーズです。有難いです。よろしく願います。

ショートステイの取り組みで、少しでもAさんの成長のサポートができたのであれば、とてもうれしいことです。

このような言葉をいただき感謝いたします。

支援員 倉本 陽香

トレーナーとしての思い

平成会の新人教育の取り組みとして「トレーナー制度」があります。この制度は、入職2〜3年目の職員が新人職員に寄り添って、仕事をするために必要なスキルを身につけることができるよう指導するものです。

私は入職4年目で、トレーナーも指導者も経験してきた、今回はまたトレーナーをするつもりになりました。

トレーナーは新人職員の身近な存在として、新人職員の一番の理解者、相談相手になる必要があります。

私も新人職員だった頃は、右も左も分からず、大学で学んできた福祉の知識はあっても、実践力は無く、現場でなかなか活かすことができませんでした。そこで支えとなったのは先輩職員でした。

業務上の教育はもちろん、敬語の使い方、社会人としての振舞い方、そして小さな変化も見逃さず、「何かあった?」と常に心配してくださる姿に私もなりたいたいと思うようになりました。

私は1年目で経験したことを糧に、新人職員の気持ちに寄り添えるトレーナーでありたいと思っています。同時に、新人の育成は、先輩の指導者や、職場全体で支えることが重要です。

職員全体のまとまりによって、利用者、職員が笑顔で過ごせる「ティセンターこだま」にしていきたいと思っています。

支援員 宮脇 愛理

お礼

あおぞらぱん屋さん 移動販売車の整備

広島県共同募金会より、令和2年度NKK歳末たすけあい助成金の交付を受け、この度マツダスクラムが納車となりました。

あおぞらぱん屋さんのパンをお客様へお届けするため、永く大切に使用させていただきます。

ありがとうございます。



「あさひ」から車で約16分の、忠海港で撮った夕焼けです。

趣味の写真繋がりで出会った人達と、うさぎの島で有名な大久野島へ撮影に行き、帰りのフェリーから降りた時に撮影しました。

支援員 瀬古 昌弘



※誌面の写真、名前については、ご本人の同意を得て掲載しています。